

令和8年度 第2回学校運営協議会議事要旨

松戸市立小金小学校

○日 時 令和8年7月7日（火） 9時35分より

○場 所 小金小学校 コミュールーム

○参加者

松戸市教育委員会より

教育政策推進課指導主事 河村 将 様

教育研究アドバイザー 久保木 晃一 様

西郡 泰樹 様

学校運営協議会委員 出席者（敬称略）

安達 里季 上野 久 塩澤 凉子 大谷 茂範 安井 裕道

山口 真由美 海老澤 亜矢 丸山 達也 中嶋 雅行

三輪 祐子 西山 幸子 松尾 利之

（12名）

学校運営協議会委員 欠席者（敬称略）

鈴木 悦朗 岩田 智恵 吉野 大介（3名）

○次第

1 授業参観 9時40分～10時20分

2 小金小学校学校運営協議会 10時40分～

（1）校長挨拶

校長より、授業参観への参加に対する謝意が述べられた。

また、当日の教育活動について説明があった。

- ・6年生は「わくわく探検隊」のインタビュー活動のため、一部学級が通常授業ではなかった
- ・4年生以上では交換授業を実施し、複数の教員が児童を多面的に見る体制をとっている。
- ・3～6年生では教科担任制を導入している。
- ・本年度は、4年生の図画工作科において大学講師や絵画教室講師など外部専門家による授業を実施している。
- ・登校に不安を抱える児童に対し、家庭との連携やオンライン参加など個別支援を進めている。

学校としては、多様な児童への支援や地域との連携を今後も進めていきたいとの説明があった。

（2）議事録作成について

教頭より、本日の協議内容は録音し、文字起こしのうえ議事録としてまとめる旨の説明があった。

(3) 会長挨拶

会長より、授業参観を通して新たな発見が多くあり、有意義な機会であったとの感想が述べられた。その後、各委員から授業参観の感想を共有した。

(4) 授業参観の感想・意見交換

○学校環境について

- ・校舎や教室内の掲示物が工夫されており、学習環境が整えられている。
- ・各学級で特色ある教育活動が行われている。
- ・校内の清掃状況が良好で、整理整頓されている。
- ・靴箱なども整然としており、児童の生活習慣の定着が感じられた。

○授業の様子について

- ・タブレットやICT機器を活用した授業が見られた。
- ・ゲーム的要素を取り入れた学習活動は児童の関心を引いていた。
- ・一方で、ICT活用の目的や効果について検討の余地もある。
- ・学級によって落ち着きに差が見られたが、全体としては授業に取り組む姿勢が見られた。

○児童の成長について

- ・学年ごとに発達段階に応じた成長が見られた。
- ・低学年は活発で、高学年になるにつれて落ち着きや主体性が育っている様子が見受けられた。
- ・6年生は挨拶やコミュニケーション能力が高く、中学校進学への期待がもてた。

○学校の支援体制について

- ・個別支援が必要な児童にも丁寧に対応している様子が見られた。
- ・特別支援学級における児童への声掛けや支援が適切に行われていた。
- ・教職員が様々な児童に配慮しながら授業を進めていることが感じられた。

○地域・保護者の視点から

- ・保護者参観とは異なり、学校の日常的な様子を見ることができた。
- ・学校が大切にしている「挨拶」と「笑顔」が児童に浸透していると感じた。
- ・地域や保護者が学校を支える役割について改めて考える機会となった。

(5) 協議事項

○前協議会で挙げられた課題の確認。学校から示された主な課題は以下のとおり。

- ・家庭学習習慣の定着
- ・健全な生活リズムの確立

- SNS・インターネットの適切な利用
- 教育活動への外部支援
- 外国籍児童および保護者への対応
- 不登校児童への支援
- 多様化する学校ニーズへの対応

これらについて、「家庭の教育力」という表現ではなく、「地域として子供を支える環境づくり」という視点で考えていくことが確認された。

○地域活動の活用について

既存の地域活動を活用しながら課題解決につなげる方向性が示された。

- 小金わくわく探検隊
- ふれあい花壇
- 地域のお祭り
- 朝の本屋さん活動
- キャリア教育

参加者は付箋を用いてアイデアを記入し、次回以降整理・分類していくこととなった。

(6) その他

委員より、「小金わくわく探検隊」の活動を通じて地域の仕事や伝統的な道具（竿ばかり等）に触れる機会が、地域理解や学びにつながるとの意見が出された。

また、本日集めた付箋の内容については有志委員と学校側で整理し、次回協議の資料とすることが確認された。

(7) 次回予定

次回協議会の日程については、別途学校から連絡することとなった。

閉会 11 時 30 分

